気持ちも新たに、新潟経済の隆盛を祈念！
～新潟商工会議所新年祝賀会に1200名～

平成30年新年祝賀会を1月5日、ANAクラウンプラザホテル新潟において開催し、来賓、会員など併せて約1200名が参加しました。

福田会頭は、「本年は事業承継や生産性向上のための事業をはじめ、新潟開港150周年記念事業などにも積極的に取り組んでまいりたい」と挨拶しました。また、米山知事、篠田市長、地元選出国会議員の祝辞や三村日商会頭からの祝電披露、古町芸妓連の祝舞、賀詞交換が活発に行われ、盛会裏に終了しました。

挨拶する福田会頭

〈福田会頭挨拶〉

新年、あけましておめでとうございます。

新潟県経済は緩やかな回復基調にあるとされていますが、より一層の実感が欲しいというのが正直な気持ちでございます。

昨年12月に、新たな政策パッケージと、平成30年度税制改正大綱が発表されました。全国の商工会議所の声に応えて、中小企業の皆様の事業承継や生産性向上のための様々な施策が盛り込まれております。商工会議所としても、これらを活用して地域経済の活性化に努めてまいる所存でございます。是非とも皆様から積極的にお使いいただきたいと考えております。

新潟は来年、開港150周年を迎え、世界にPRできる絶好のチャンスが到来します。また、今年で4年目となりますが、佐渡の世界遺産登録の実現に向け、引き続き頑張ってまいります。皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

会員各位のご隆盛と、本日ご臨席いただきました皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

賀詞交換のようす

〈米山県知事祝辞〉

県経済は緩やかな回復基調にあると考えておりますが、より一層その歩みを強くしていくために、中小企業の人材確保をはじめ、生産性向上に繋がるような、また、新規投資に踏み切れるような支援策を展開してまいりたいと考えております。

県知事として2年目を迎えます。今年は「有言実行」の年にしてまいりたいと思っております。県・市ともに、財政が苦しい中ではありますが、魅力あるまちづくりに向けた様々な施策を打ち出してまいります。

新潟駅の高架化もついに実現されます。新潟をより美しく綺麗に、後世に誇れる街にできるよう、皆様とともに取り組んでまいります。

〈篠田市長祝辞〉

新潟市で平昌オリンピック・フィギュアスケートのロシア代表選手団が合宿を行うという話が出ております。拠点性の弱さが指摘される新潟空港に、反転攻勢の動きが明確に出てきました。また、万代島で改修中の通称「大かま」（旧水産物物揚場）は3月の酒の陣で利用できる見通しです。

さらに、今年のゴールデンウィーク前には、新潟駅周辺整備連続立体交差事業の高架駅第一期開業を迎えます。これを大きな契機とし、新潟駅から街へ繰り出すルートを明確にして新潟駅周辺のまちづくりを、県とともに進めてまいります。また、7月14日には「海フェスタにいがた」が開催されます。新潟開港150周年を盛り上げるきっかけのイベントとなるよう、全力で取り組んでまいります。

会員増強を呼びかけたパワーアップ5000推進委員

ロシア大消費市場セミナーを開催
～第3回新潟国際ビジネス研究会～

当所新潟国際ビジネス研究会では、12月6日、「ロシア大消費市場開拓セミナー」と題して、講演会を開催しました。（ジェトロ新潟共催、参加者62名）

当日は、在新潟ロシア連邦総領事館のヤーセネフ・セルゲイ総領事が、日露ビジネス交流と新潟の企業への期待をテーマに、ロシア経済の最新事情などを語ったほか、㈱ＪＳＮの代表取締役高橋克郎氏からロシアの消費構造と開拓について、新潟県知事政策局 国際ビジネス推進担当参与の前田奉司氏からロシアビジネスマンとの協力について説明がありました。

最後に、今代司酒造㈱代表取締役社長の田中洋介氏と㈱玉川堂代表取締役社長の玉川基行氏からロシアビジネス体験談を聞きました。

講演するヤーセネフ・セルゲイ在新潟ロシア連邦総領事

参加者からは、「現地の市場のみならず、ロシア人の嗜好、ロシア政府側が日本に求めている事項など、色々と参考になる話を聞くことができた」「現地事情を現地ビジネスマン目線で語っていただき、大変参考になった」などの意見が寄せられました。

未来の地球のために
環境保全に取り組む企業を視察

12月11日、当所とにいがた市民環境会議環境配慮推進活動部会の共催で、「環境・エネルギー視察見学会」を開催しました。

今回の視察先である北越紀州製紙㈱新潟工場では、１ロール１００ｔの製品を生産できる世界最大級の抄紙機や、環境負荷を最小限にするという「ミニマム・インパクト」による取り組み内容について説明を聞きました。㈱大橋商会東港工場では様々な廃棄物に対応した分別システムを見学した後、同社が森の荒廃を救済するため創設した㈱バイオパワーステーション新潟の木質バイオマス専焼発電所で説明を受けました。

さらに、東新潟火力発電所では、６００℃の余熱で再発電を行う〝多軸型１４５０℃級コンバインドサイクル発電系列〟など、いずれも最先端のシステムを見学しました。

産業廃棄物のリサイクル工程を見学

経営のバトンをつなぐ後継者
経営者として必要なスキルを学ぶ

若手経営者・後継者に必要な知識やノウハウの習得を目的に、㈱にいがた事業承継サポート室代表取締役の土田正憲氏と同社取締役の土田克則氏を講師に全３回（１月17日、29日、２月７日）の後継者塾を開催しました。

初回は「事業承継のポイントと経営革新」、２回目は「決算書の見方と財務管理」、３回目は「経営者に求められるリーダーシップ・組織管理力」について研修しました。

特に、財務管理については、財務諸表の見方から損益分岐点の求め方まで、経営者が知っておきたい決算書の読み方について研修しました。土田克則氏は、自身の事業承継の経験に基づき、経営者目線で解説しました。

参加者からは、「難しい専門用語がよく理解できた」、「自社の決算書を見直すきっかけになった」などの感想が寄せられました。

29年度 第4回
ビジネス情報交換会を開催

12月7日、今年度4回目のビジネス情報交換会を開催しました。今回は、18社の事業所が参加し、全事業所1分間の自社ＰＲや取引マッチングに向けた情報交換を熱心に行いました。

参加者からは、「様々な企業や業種の方とお話ができる大変貴重な時間となった」、「自分の特殊な職業を周知することができて満足」などの感想が聞かれました。

当交換会は、次年度も年4回の開催を予定しており、会員各社の情報交換とビジネスマッチングの機会を提供いたしますので、是非お気軽にご参加ください。

グループに分かれ情報交換する参加者